

本調査は、小規模事業者の皆様のご事業活動支援の一環として、市内5業種130社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2023年1月から2月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2023年1月～2月

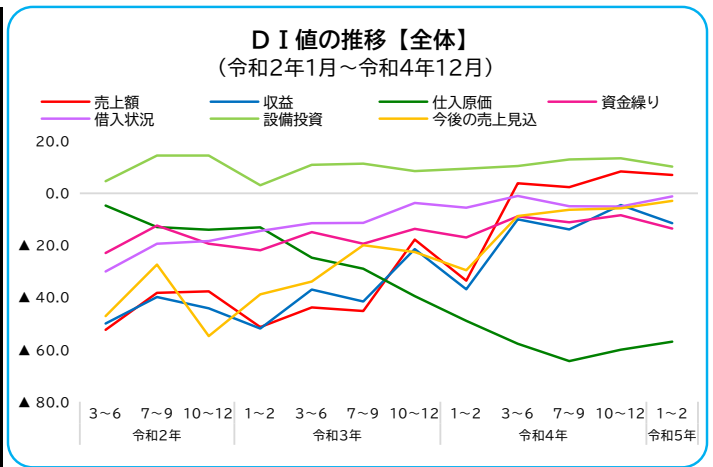
【調査方法】 建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計130社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数87社、回答率66.9%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)/全体数×100-(④+⑤)/全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

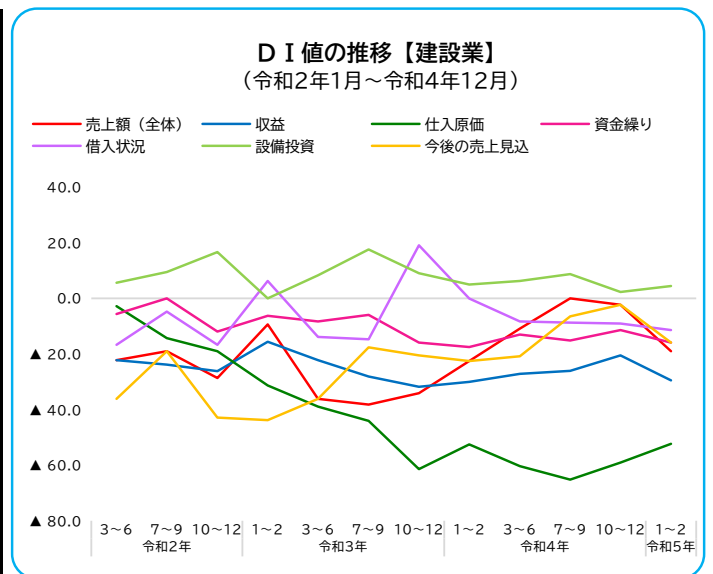
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	11	20	30	20	5	減少	7.0
収益	増加	4	17	28	31	7	減少	▲11.5
仕入原価	低下	1	1	10	48	27	上昇	▲56.9
資金繰り	好転	0	4	58	19	4	悪化	▲13.5
借入状況	減少	0	8	69	8	1	増加	▲1.2
設備投資	増加	3	16	65	2	1	減少	10.3
今後の売上見込	増加	2	22	32	27	2	減少	▲2.9



2023年1月から2月におけるDI値は、昨年同期と比較し仕入原価を除くすべての項目で改善傾向となっている。特に売上額については昨年同期▲33.5ポイントから40.5ポイント改善しており、収益についても▲36.8ポイントから25.3ポイント、今後の売上見込みについても▲29.5ポイントから26.6ポイントの改善がみられる。しかしながら、仕入原価については昨年同期と比較すると▲48.9ポイントから▲56.9ポイントと8.0ポイント悪化しており、回答企業のうち75社がやや上昇、かなり上昇と回答している。また、いずれの業種においても現在直面している経営上の問題点に仕入価格上昇とあがる企業が一番多く全体の78%で、今後求められる施策や支援策についても46%の企業が原材料・燃料価格の高騰対策をあげるなど依然厳しい状況となっている。

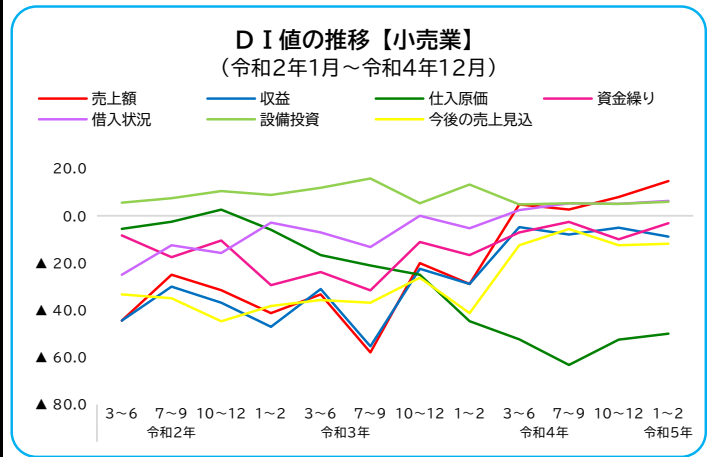
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	4	7	8	2	減少	▲19.0
公共工事(元請)	増加	1	5	0	5	1	減少	0.0
民間工事(元請)	増加	0	3	4	11	2	減少	▲30.0
下請工事	増加	1	1	4	5	4	減少	▲33.3
収益	増加	0	2	7	11	2	減少	▲29.5
仕入原価	低下	0	0	7	7	8	上昇	▲52.3
資金繰り	好転	0	0	16	5	1	悪化	▲15.9
借入状況	減少	0	1	16	4	1	増加	▲11.4
設備投資	増加	0	4	17	0	1	減少	4.5
今後の売上見込	増加	1	2	8	11	0	減少	▲15.9



*公共工事なし10件、民間工事なし2件、下請工事なし7件

建設業のDI値は、昨年同期と比較して売上額(全体)が▲22.5ポイントから3.5ポイント改善しているほか、元請公共工事も32.1ポイント改善している。しかしながら、元請民間工事は▲18.8ポイントから11.2ポイント、下請工事は▲30.0ポイントから3.3ポイント悪化している。収益についても昨年同期と比較し0.5ポイント改善しているものの、やや減少、かなり減少と回答した企業数がやや増加、かなり増加と回答した企業数を上回った。また、今後の売上見込みについては、昨年同期と比較して6.6ポイント改善しているものの、やや減少と回答した企業数がやや増加、かなり増加と回答した企業数を上回り、依然厳しい状況がうかがえる。

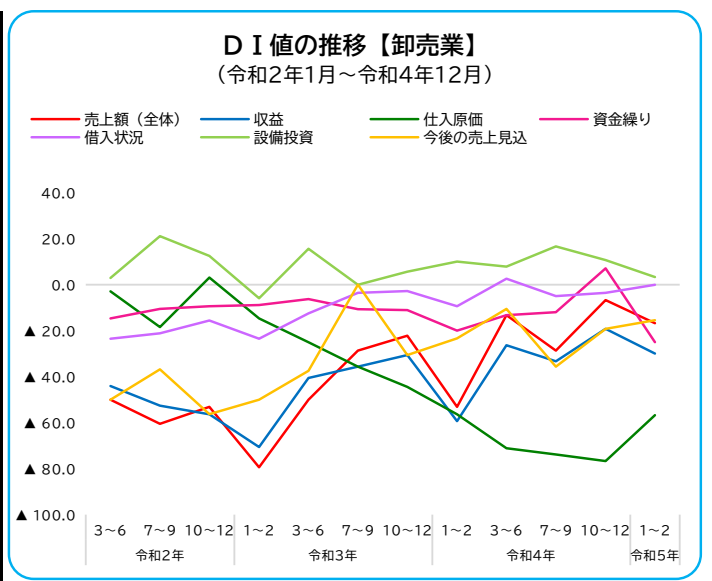
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	3	3	7	4	0	減少	14.7
収益	増加	0	3	8	6	0	減少	▲ 8.8
仕入原価	低下	0	1	0	14	2	上昇	▲ 50.0
資金繰り	好転	0	1	13	2	0	悪化	▲ 3.1
借入状況	減少	0	3	12	1	0	増加	6.3
設備投資	増加	1	1	14	1	0	減少	5.9
今後の売上見込	増加	0	5	3	9	0	減少	▲ 11.8



小売業のDI値は、昨年同期と比較して仕入原価及び設備投資を除く項目で改善しており、売上額が▲28.9ポイントから43.6ポイント、収益が▲28.9ポイントから20.1ポイント、今後の売上見込み▲41.2ポイントから29.4ポイントそれぞれ改善している。しかしながら、仕入原価については前回調査と比較しても依然厳しい状況がうかがえる。

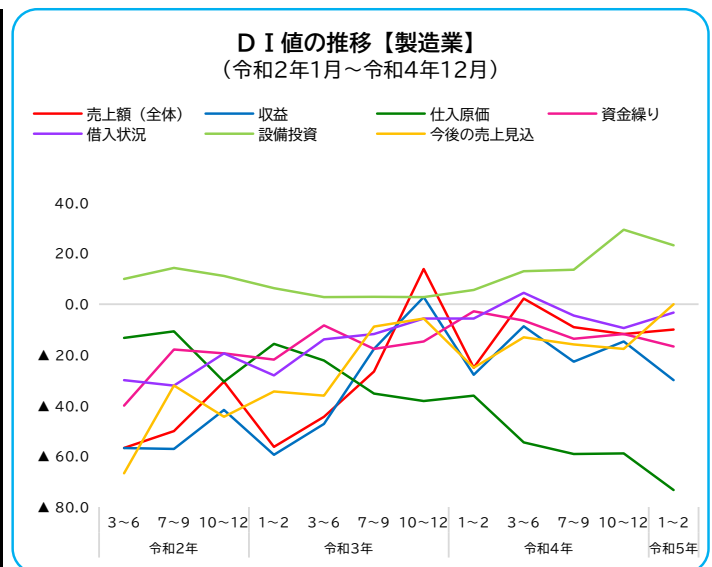
《最近の売れ筋傾向等》 ・健康維持、不整脈、鼻炎薬、酔い止め、ヘルペス、血栓症、痛み、自律神経失調
・地酒、樽生ビール ・安いものを求め来店

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	1	7	4	2	減少	▲ 16.7
市内売上	増加	1	3	4	4	2	減少	▲ 10.7
市外売上	増加	1	2	6	4	0	減少	0.0
収益	増加	0	2	5	5	3	減少	▲ 30.0
仕入原価	低下	0	0	3	7	5	上昇	▲ 56.7
資金繰り	好転	0	1	7	4	2	悪化	▲ 25.0
借入状況	減少	0	0	15	0	0	増加	0.0
設備投資	増加	0	1	14	0	0	減少	3.3
今後の売上見込	増加	0	2	7	2	2	減少	▲ 15.4



卸売業のDI値は、昨年同期と比較して売上額(全体)が▲53.1ポイントから36.4ポイント改善している中で、市内売上と市外売上についても昨年同期▲70.0ポイント、▲46.4ポイントから大幅に改善している。また、収益についても▲59.4ポイントから29.4ポイント、今後の売上見込み▲23.3ポイントから7.9ポイントそれぞれ改善している。仕入原価については、0.4ポイント悪化しており、回答企業のほとんどがやや上昇、かなり上昇と回答している。

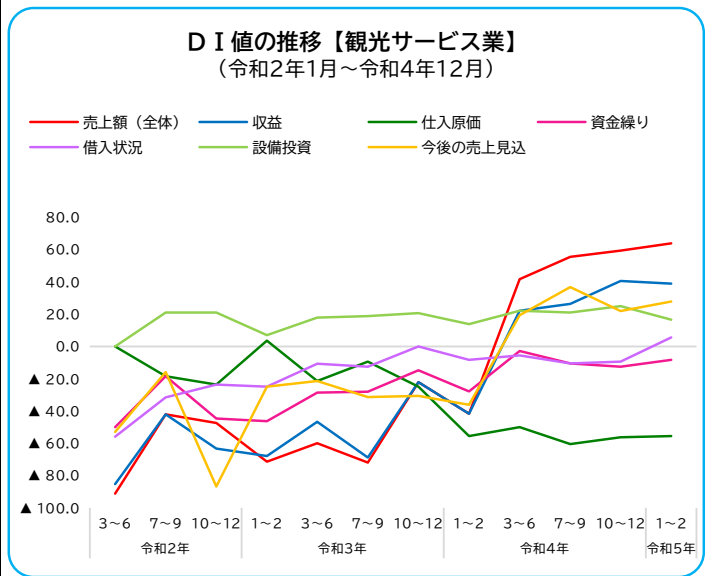
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	3	7	4	1	減少	▲ 10.0
市内売上	増加	0	3	5	5	1	減少	▲ 14.3
市外売上	増加	1	2	6	3	1	減少	▲ 3.8
海外売上	増加	0	0	3	0	0	減少	0.0
収益	増加	0	1	6	6	2	減少	▲ 30.0
仕入原価	低下	0	0	0	8	7	上昇	▲ 73.3
資金繰り	好転	0	1	8	6	0	悪化	▲ 16.7
借入状況	減少	0	1	12	2	0	増加	▲ 3.3
設備投資	増加	2	3	10	0	0	減少	23.3
今後の売上見込	増加	0	3	9	3	0	減少	0.0



*市内売上なし1件、市外売上なし2件、海外売上なし12件

製造業のDI値は、昨年同期と比較して売上額(全体)が15.0ポイント改善しているものの、仕入原価は昨年同期▲36.1ポイントから▲73.3ポイントと37.2ポイント悪化している。しかしながら、市内売上が昨年同期▲50.0ポイントが▲14.3ポイントと35.7ポイント改善しており、今後の売上見込みについても、昨年同期と比較して25.0ポイント改善している。また、資金繰りについては昨年同期▲2.8ポイントから▲16.7ポイントと13.9ポイント悪化している。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	7	9	2	0	0	減少	63.9
地元売上	増加	1	3	11	2	0	減少	8.8
日本人観光客売上	増加	4	10	3	0	0	減少	52.9
インバウンド売上	増加	4	6	3	2	0	減少	40.0
収益	増加	4	9	2	3	0	減少	38.9
仕入原価	低下	1	0	0	12	5	上昇	▲55.6
資金繰り	好転	0	1	14	2	1	悪化	▲8.3
借入状況	減少	0	3	14	1	0	増加	5.6
設備投資	増加	0	7	10	1	0	減少	16.7
今後の売上見込	増加	1	10	5	2	0	減少	27.8



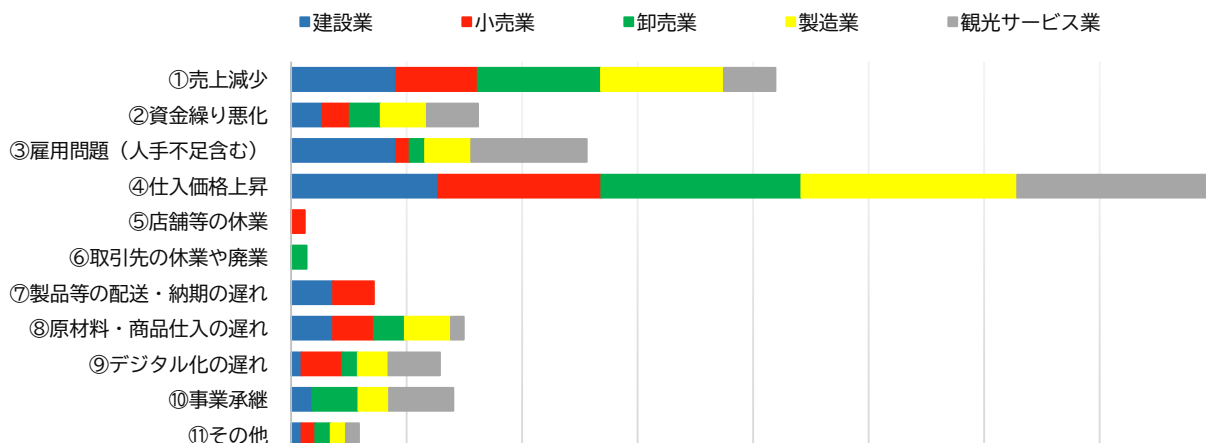
*地元売上なし1件、日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし2件

観光サービス業のDI値は、新型コロナウイルス感染症による休業となっていた昨年同期と比較してすべての項目で改善傾向となっており、特に売上額(全体)については、昨年同期▲41.7ポイントから105.6ポイントの大幅な改善となっている。中でも日本人観光客売上は昨年同期▲31.3ポイント、インバウンド売上▲25.0ポイントからそれぞれ84.2ポイント、65.0ポイントの改善となり、収益▲41.7ポイント、今後の売上見込み▲36.1ポイントについてもそれぞれ80.6ポイント、63.9ポイントの大幅な改善となっている。

問2 現在直面している経営上の問題点(新型コロナウイルス感染症含む)についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①売上減少	10	6	8	8	4	36	41%
②資金繰り悪化	3	2	2	3	4	14	16%
③雇用問題(人手不足含む)	10	1	1	3	9	24	28%
④仕入価格上昇	14	12	13	14	15	68	78%
⑤店舗等の休業	0	1	0	0	0	1	1%
⑥取引先の休業や廃業	0	0	1	0	0	1	1%
⑦製品等の配送・納期の遅れ	4	3	0	0	0	7	8%
⑧原材料・商品仕入の遅れ	4	3	2	3	1	13	15%
⑨デジタル化の遅れ	1	3	1	2	4	11	13%
⑩事業承継	2	0	3	2	5	12	14%
⑪その他	1	1	1	1	1	5	6%

現在直面している経営上の問題点



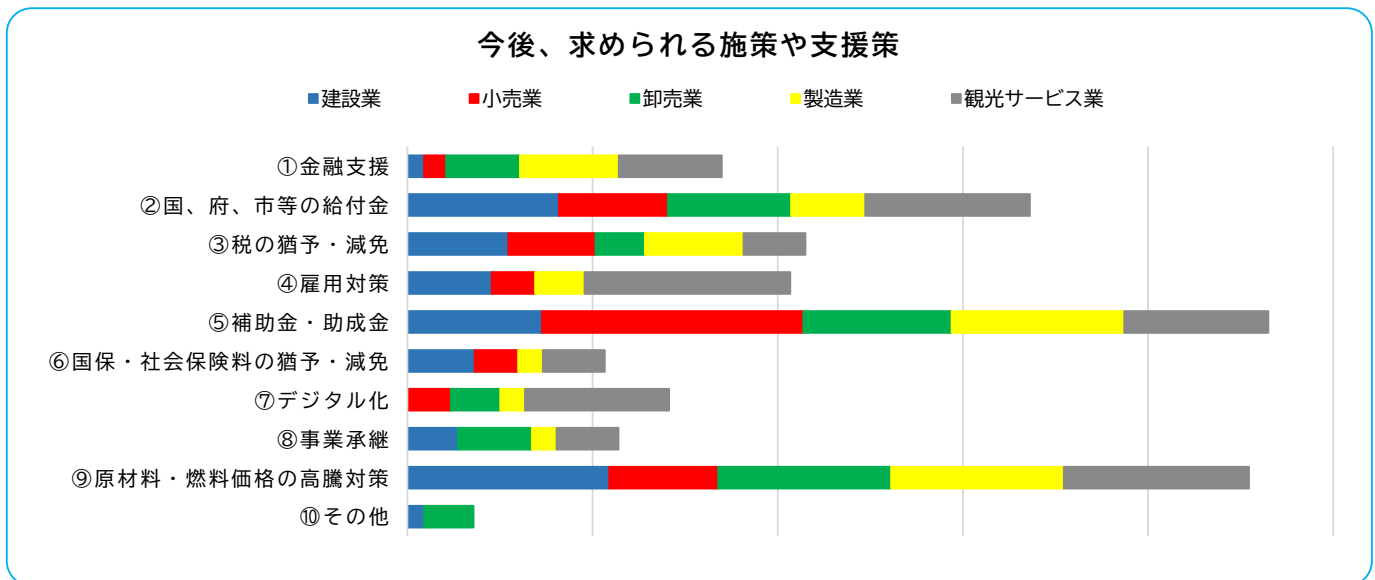
《建設業》③の原因は業界全体の人手不足感
《卸売業》水道光熱費高騰、仕入商品減少

《小売業》宝くじ廃業
《製造業》製品不足

《観光サービス業》老朽化した設備の更新

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①金融支援	1	1	3	4	5	14	16%
②国、府、市等の給付金	9	5	5	3	8	30	34%
③税の猶予・減免	6	4	2	4	3	19	22%
④雇用対策	5	2	0	2	10	19	22%
⑤補助金・助成金	8	12	6	7	7	40	46%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	4	2	0	1	3	10	11%
⑦デジタル化	1	2	2	1	7	13	15%
⑧事業承継	3	0	3	1	3	10	11%
⑨原材料・燃料価格の高騰対策	12	5	7	7	9	40	46%
⑩その他	1	0	2	0	0	3	3%



《建設業》設計価格の対応、賃上げ支援

《卸売業》インボイス、大規模店舗の出店によるダメージ

《観光サービス業》人手不足がやわらげられる程度のデジタル化

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。